

## 平成 22 年度 第 5 回 高大連携協議会（機械系）

日時：平成 22 年 11 月 22 日（月）14:00～16:00

会場：宮崎大学工学部 中会議室

<出席者>工業高校からの出席者 6 名（内、校長 1 名，教頭 1 名）

宮崎大学工学部機械システム工学科教員 8 名

### 協 議 内 容

・協議に先立ち，宮崎大学工学部機械システム工学科 学科長より挨拶があった。

・出席者の自己紹介が行われた。

#### 1. 大学側からの現状説明

資料をもとに，大学，工学部，学科の現状について説明があった。

#### 2. 高校側からの現状説明

各種コンテスト，技能検定，合同合宿，特別支援学校への支援等の説明があった。就職状況については，求人数は 5%程度減少したが，内定率は 80~90%であること，県外への就職が増加していることの説明があった。

また，高大連携協議会への出席者はしばらく固定する旨の報告があった。

#### 3. 今後の大学進学指導に対する工業高校のビジョンについて

(1)進学希望者については，学校によって異なるが，進学者数の多い学校において宮崎大学への希望者は 4 名程度で，その中から 2 名を選抜している。将来的にも，現状とは大きく変わらないものと考えられる。

(2)専門科目での入試についての話題が出た。

#### 4. 高大連携の必要性および今後の連携について

(1)大重校長より，資料をもとに，高大連携の必要性（情報交換，学びあい）やどのような高大連携が可能か（①教員間，②大学教員と生徒，③高校教員と大学生，④高校生と大学生）についての説明があった。

(2)「②大学教員と生徒に関する連携」については，宮崎大学のデザイン科目（授業）への高校生の参加が話題となった。

(3)「③高校教員と大学生に関する連携」については，技能検定を受けたい大学生への高校教員による指導が話題となった。

(4)「④高校生と大学生に関する連携」については，高校生の大学研究室へのインターンシップが話題となった。

(5)可能な連携から始めることとし，今年度中に第 6 回の高大連携協議会で具体的な内容を検討することとなった。

#### 5. その他

(1)第 6 回高大連携協議会（機械系）を 3 月までに実施することとし，その際，宮崎大学で研究室見学を行うこととした。

以上